会 派 代 表 質 問

(通告内容)

令和5年9月 那須塩原市議会定例会議

【質問者】

【令和5年9月4日(月)】

- 1 10:00~ サステイナブル 2 1 議席番号 2 2番 中村 芳隆 議員
- 2 11:25~ シン・那須塩原議席番号 7番 森本 彰伸 議員

受付番号

令和5年8月21日

第2号

<u>午前</u> 11時23分受付 午後

令和 5年 8月21日

那須塩原市議会議長 山 形 紀 弘 様

会派名サステイナブル21議席番号22番中村芳隆

会派代表質問通告書 令和5年9月那須塩原市議会定例会議における会派代表質問を下記のとおり通告します。 記

質問事項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 2期目の渡辺市政が最重点	「那須塩原駅周辺整備事業」では、令和3年3月に策定した「那
プロジェクトとする「那須	須塩原駅周辺まちづくりビジョン」における駅周辺整備の方向性
塩原駅周辺整備事業」につ	を踏まえ、那須塩原駅から新庁舎予定地までを一体の空間とした、
いて	まちづくりの「イメージ」の検討を行ってきました。その「イメ
	ージ」を市民に示し、いよいよ「まちづくり」の具体化に取組む
	ことから、以下の点についてお伺い致します。
	(1) 那須塩原駅周辺まちづくりの「イメージ」について
	(2) 具体化に向けた検討体制について
	(3) 新庁舎設計との関連について
2. 今後の「西那須野ふれあい	本市では3つのまつりを令和2年度と3年度は、コロナ禍によ
まつり」、「那須野巻狩りま	って中止し、令和4年度は、国民体育大会等に注力するため休止
つり」及び「西那須野産業	しました。この間、コロナ後の新しい社会、すなわちニューノー
文化祭」について	マルのあり方が強く意識され、まつりのあり方についても例外で
	はなく、「実質的に市が中心となって実行委員会を運営する」とい
	う既存の手法から「市民がよりよく楽しむために、市民自らが作
	り出す」という「新しいまつり」が求められ、令和7年1月1日

質問事項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)						
	には合併20年という区切りを迎えることからも、改めてこの機						
	により充実した「まつり」とするための検討を行っております。						
	検討にあたっては、これまで「まつり」を運営してきた実行委						
	員会などにアンケートを実施するなど市民の声を聞きながら進め						
	ていることから、以下の点についてお伺い致します。						
	(1) 検討の進捗状況について						
	(2) アンケート結果を踏まえた「まつり」の考え方について						
	(3) 今後のスケジュールについて						
3. 令和4年度の主な事業の成	渡辺市長は、市長就任以来、「那須塩原市に住んでいれば生き延						
果について	びられる」持続可能なまちづくりをコンセプトに掲げ、本市を取						
	り巻く行政課題の解決に取組んでおります。						
	令和4年度市政運営の基本的な考え方として、新型コロナウイ						
	ルス感染症に係る状況を見極めながら、引き続きスピード感をも						
	った感染症対策に取組むことは当然のこととした上で、ウィズコ						
	ロナ、アフターコロナにおける、あるべき地域社会を見据えつつ、						
	これまで以上に付加価値の高い施策を打ち出し、那須塩原市の魅						
	力、優位性を強力にアピールしていく取組みが求められ、そのキ						
	ーワードを「分散」「DX」「ゼロカーボン」とし、市政運営に取						
	組んだことから、以下についてお伺い致します。						
	(1) いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会について						
	(2) 新型コロナウイルス感染症、原油価格・物価高騰、自然災						
	害への備えなど喫緊の課題への対応について						
	(3) コロナ後の那須塩原に向けた取組みについて						

受付番号

令和5年8月21日

第1号

<u>午前</u> 午後 1 0時5 3分受付

令和5年8月21日

那須塩原市議会議長 山 形 紀 弘 様

会派名	シ	ン・	那須塩	原	
議席番号	7	悉	森本	音//由	

会派代表質問通告書 令和5年9月那須塩原市議会定例会議における会派代表質問を下記のとおり通告します。

質問事項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 学校教育について	全国的にも、そして本市でも少子化が進み、多くの学校では児
	童生徒数が減っています。一方、家庭環境や地域の問題なども多
	様化し学校現場での児童生徒への指導の難しさは高まっているの
	ではないかと感じています。そんな中であっても子どもたちへの
	学校での教育は、家庭教育や地域教育と並んで、子どもたちの未
	来そしてこの国の未来を左右する最重要事項であります。
	今年3月には、第2期那須塩原市教育大綱及び第2期那須塩原
	市教育振興基本計画を策定し、教育部局の学校教育を重視する姿
	勢は十分理解するところではありますが、計画に基づき本市の全
	ての子どもたちが、より良き環境で充実した教育を受け、明るい
	幸せな未来を享受する、社会の一員となっていくことを強く望み
	以下のことをお伺いします。
	(1) 学校施設の整備、更新の状況と予定について
	(2) 本市の特色ある教育について
	(3) 学力向上の取組について
	(4) 体育の促進について
	(5) 徳育の現状と今後の取組について

質問事項	質問の内容(詳細に)
2. 那須塩原駅前開発について	東京から 70 分、栃木県北の玄関口である那須塩原駅は1982
	年に新幹線の停車駅となって以来、県北の住民から地域発展の要
	として大きな期待を受けてきました。当時、小学生であった私も、
	これから那須塩原駅を中心に県北にも、宇都宮のように多くの人
	が行き交いデパートやレストランが沢山できるのかなとワクワク
	したことを覚えています。
	渡辺市長から、何度か議会に対して那須塩原駅前の開発につい
	ての発言もあり、先日の議員全員協議会でも本事業を推進する体
	制の発表がありました。今後の、開発の方向を明確にし、1日も
	早く那須塩原駅前が地域の発展に貢献することを望み以下のこと
	についてお伺いします。
	(1) テーマの設定について
	(2) 開発の中での新庁舎の役割について
	(3) 駅の利便性の確保について
	(4) 商業施設の誘致の考え方について
	(5) 西那須野・黒磯各駅とのつながりについて
	(6) 市内各地へのアクセスの考え方について